

平成 28 年度 総合計画実施計画表

1. 基本情報

事務事業名	廃棄物処理及び資源循環推進事業					事業No.	
事業担当課	生活環境部 環境整備課	所属長	畑田 弥須裕	担当者	松枝 満		
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	清掃総務費	篠山市清掃センター管理運営事業		
	新規・継続・臨時区分	継続		丹波市クリーンセンター管理運営事業	氷上多可衛生事務組合運営事業		
	会計区分	一般		最終処分場管理運営事業			
総合計画の 位置づけ	まちづくり目標	①	【2】誰もが住みたい定住のまち				
		②					
	施策目標	①	2-7【ごみ処理】ごみの分別を徹底し環境に配慮した循環型社会を形成しよう				
		②					
	施策の展開	①	①資源循環型社会の形成	②			
		①	②新しいごみ収集システムの確立	②			
根拠法令・個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、丹波市廃棄物の適正処理、減量及び再生利用に関する条例						
事業期間	開始年度	16	年度	～	終了年度	無期	年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	市民・事業者、廃棄物・資源				
実施目的 (ベストな状態(期待される効果))	丹波市クリーンセンターを拠点として、ごみ分別の徹底や減量化・資源化の取組みを進め、環境に配慮した循環型社会の形成を図る。				
事業の概要 (具体的手段・全体計画)	一般廃棄物処理基本計画、同実施計画及び分別収集計画の策定と進行管理 廃棄物処理施設(熱回収施設、リサイクル施設など)の管理運営 廃棄物の適正処理及びリサイクルの取組みの推進、啓発活動				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	丹波市クリーンセンター管理運営、最終処分場管理運営、篠山市清掃センター運営、リサイクル活動補助、氷上多可事務組合運営ほか	丹波市クリーンセンター管理運営、最終処分場管理運営、篠山市清掃センター運営、リサイクル活動補助、氷上多可事務組合運営ほか	丹波市クリーンセンター管理運営、最終処分場管理運営、篠山市清掃センター運営、リサイクル活動補助、氷上多可事務組合運営ほか	丹波市クリーンセンター管理運営、最終処分場管理運営、篠山市清掃センター運営、リサイクル活動補助、氷上多可事務組合運営ほか	丹波市クリーンセンター管理運営、最終処分場管理運営、篠山市清掃センター運営、リサイクル活動補助、氷上多可事務組合運営ほか
平成28年度事業及び積算内容	清掃総務費70,378千円、丹波市クリーンセンター管理運営事業577,277千円、最終処分場管理運営事業33,813千円、篠山市清掃センター運営事業146,835千円、氷上多可事務組合運営事業120,726千円				
コスト(千円)	予算額	予算額	見込額	見込額	見込額
総事業費A+C+E	1,172,365	1,123,349	1,123,349	1,123,349	0
直接事業費A	995,965	949,029	949,029	949,029	
職員従事者数(人・年)B	20.50	20.04	20.04	20.04	
人件費C=B×8,000千円	164,000	160,320	160,320	160,320	0
非常勤職員従事者数(人・年)D	6.20	7.00	7.00	7.00	
人件費E=D×2,000千円	12,400	14,000	14,000	14,000	0
特定財源	194,027	175,225	175,225	175,225	0
国・県支出金	3,321	3,292	3,292	3,292	
借入金(地方債)	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他特財	190,706	171,933	171,933	171,933	
一般財源	978,338	948,124	948,124	948,124	0

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
活動	一人一日当たりごみ発生量	g/日	一人一日当たりのごみ発生量を基準とすることで、具体的な取り組みの目標設定がしやすくなり、一人一日当たりごみ発生量の減少を目指す。【算出式】年間ごみ処理量/人口/365	722.4	715.5	708.7	701.7	
活動	ごみのリサイクル(資源化)率	%	排出者にわかりやすい指標として設定するもので、リサイクル(資源化)率の向上を目指す。【算出式】年間ごみ資源化量/年間ごみ発生量%	693.1	25.6	25.8	26.0	

1. 基本情報

事務事業名	廃棄物処理施設整備・整理事業					事業No.	
事業担当課	生活環境部 環境整備課	所属長	畑田弥須裕	担当者	中道 豊		
事業区分	実施計画区分	該当	予算 小事業 名	一般廃棄物処理施設整備事業			
	新規・継続・臨時区分	継続		一般廃棄物処理施設整理事業			
	会計区分	一般					
総合計画の 位置づけ	まちづくり目標	①	【2】誰もが住みたい定住のまち				
		②					
	施策目標	①	2-7【ごみ処理】ごみの分別を徹底し環境に配慮した循環型社会を形成しよう				
		②					
施策の展開	①	①資源循環型社会の形成	②				
	②		②				
根拠法令・個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律/資源の有効な利用の促進に関する法律/丹波市廃棄物の適正処理、減量及び再生利用に関する条例						
事業期間	開始年度	19	年度	～	終了年度	35	年度

2. 事業の概要

対象(誰を、何を)	丹波市クリーンセンター附属施設、既存廃棄物処理施設				
実施目的 <small>ベストな状態(期待される効果)</small>	丹波市クリーンセンターの整備に関連する附属施設の整備を早期に完了し、整備した施設を活かし資源循環型社会の形成に向けての取り組みを進める。 平成26年度をもって廃止(一部廃止を含む)する既存廃棄物処理施設の解体(一部活用を含む)及び跡地利用を計画的に進める。				
事業の概要 <small>(具体的手段・全体計画)</small>	丹波市クリーンセンター附属施設の整備 計画施設: 市民広場、生ごみ・剪定枝リサイクル実証施設、管理道路、周辺道路など。 既存廃棄物処理施設の解体(一部活用を含む)及び跡地整備 対象施設: クリーンセンター(ひかみ・春日・市島の3施設)、リサイクルセンター(氷上・柏原・青垣の3施設)				
各年度の事業概略	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	管理道測量、市民広場の設計、生ごみ・剪定枝リサイクル実証施設、市民広場、施設内道路改良、南側公園トイレほかの整備、ほか	周辺道路整備関連業務、実施設計、市島CC解体実施設計ほか	周辺道路整備関連業務及び工事、市島CC解体工事、春日CC解体実施設計ほか	周辺道路整備関連業務及び工事、市島CC解体工事、春日CC解体実施設計ほか	
平成28年度事業及び積算内容	【現年】市島CC解体実施設計(15,477千円)、市道野々間線用地買収等(54,750千円)、管理道路整備用地買収等(14,956千円) 【繰越】管理道測量等(20,000千円)、生ごみ・剪定枝リサイクル実証施設(91,739千円)、市民広場・駐車場工事(88,100千円)、施設内道路改良(38,500千円)、ひかみCC・氷上RC設解体工事(155,109千円)				
コスト(千円)	予算額	予算額	見込額	見込額	見込額
総事業費A+C+E	893,689	196,776	304,177	313,800	0
直接事業費A	864,089	165,176	272,577	282,200	
職員従事者数(人・年)B	3.50	3.95	3.95	3.95	
人件費C=B×8,000千円	28,000	31,600	31,600	31,600	0
非常勤職員従事者数(人・年)D	0.80	0.00	0.00	0.00	
人件費E=D×2,000千円	1,600	0	0	0	0
特定財源	553,400	81,200	181,700	184,700	0
国・県支出金	0	0	0	0	
借入金(地方債)	433,400	66,200	81,700	84,700	
受益者負担金	0	0	0	0	
その他特財	120,000	15,000	100,000	100,000	
一般財源	340,289	115,576	122,477	129,100	0

3. 指標等の進捗管理

目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
成果	附属施設整備率	%	整備予定附属施設の整備進捗状況を把握し、早期の完了を目指す。【算出式】完了事業数/計画事業数	56.0	68.0	82.9	98.3	
成果	既存施設整理率	%	整理予定既存施設の整理進捗状況を把握し、早期の完了を目指す。【算出式】完了事業数/計画事業数	15.7	35.2	51.4	68.1	